

全国学力・学習状況調査について

1. 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2. 調査実施日

平成26年4月22日（火）

3. 調査の対象

泉佐野市立長南中学校 第3学年、全生徒
実施生徒数（ 84 人）

4. 調査の内容

- (1) 学力に関する調査
 - ア 教科は、国語及び数学。
 - イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。
 - ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。
- (2) 学習状況に関する調査
調査する学年の生徒を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査（以下「生徒アンケート調査」という。）を実施する。
- (3) 学校の取組みに関する調査
調査対象の生徒が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査（以下「学校アンケート調査」という。）を実施する。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1. 全体の傾向

「A区分問題」

- 平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国と比べ上位層が少なく、中位層・下位層が多い傾向が表れている。

平均正答率（本校 72.1 / 泉佐野市 75.7 / 大阪府 77.0 / 全国 79.4）

「B区分問題」

- 平均正答数の全体的な分布状況は全国とほぼ同じ状況であるが、全国に比べ上位層が少なく、中位層・下位層が多い傾向が表れている。

平均正答率（本校 42.9 / 泉佐野市 44.7 / 大阪府 47.2 / 全国 51.0）

2. 学力状況調査より（本校正答率/全国正答率）

国語A	特徴がみられた設問
<p>【話す・聞く能力】</p> <p>○必要に応じて質問し、足りない情報を聞き出すことに課題がある。</p> <p>1二 報告の内容を踏まえた質問として適切なものを選択する。(70.2 / 80.3)</p> <p>【読む能力】</p> <p>○文章全体と部分との関係を考え、内容を理解することに課題がある。</p> <p>5二 「次々に簡略化していった」理由を説明したものとして適切なものを選択する。(75.0 / 85.6)</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】</p> <p>○文脈に即して漢字を正しく読むことは概ねできている。</p> <p>8二3 漢字を読む（新記録に挑む）(91.7 / 95.2)</p> <p>○語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うことはおおむねできている。</p> <p>8三イ 適切な語句を選択する（先のことは分からないが、とりあえず準備だけはしておく）(95.2 / 96.2)</p>	<p>【言語についての知識・理解・技能】</p> <p>○文脈に即して漢字を正しく書くことについて課題がある。</p> <p>8-1 漢字を書く（地域の人をショウタイする）(45.2 / 57.6)</p> <p>8-3 漢字を書く（計画を行動にうつす）(58.3 / 73.6)</p> <p>○歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むことに課題がある。</p> <p>8五1 歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す（まうけて）(64.3 / 80.3)</p> <p>○古典と昔話とを対応させて内容を捉えることに課題がある。</p> <p>8五2 古文に当てはまる言葉を昔話の中から抜き出す(56.0 / 71.0)</p>

国語B	特徴がみられた設問
<p>○文章の構成や表現の仕方などについて、根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題がある。</p> <p>1三 ノートを基に、標語から伝わってくる〈メッセージ〉と〈表現の工夫とその効果〉を書く(32.1 / 48.2)</p> <p>○複数の資料を比較して読み、要旨を捉えることに課題がある。</p> <p>2二 本とインターネットの内容を比較したときの説明として適切なものを選択する(28.6 / 31.4)</p>	<p>○資料から適切な情報を得て、伝えたい事実や事柄が明確に伝わるように書くことに課題がある。</p> <p>2三 水の中に浸すと、切手をきれいにはがすことができる理由を書く。(25.0 / 28.4)</p> <p>○落語に表れているものの見方や考え方について、根拠を明確にして自分の考えを書くことに課題がある。</p> <p>3三 落語の演じ方を選択し、なぜそのように演じるのかを、本文を根拠に殿さまの気持ちを想像して書く(29.8 / 46.5)</p>

3. 学習状況調査より

質 問 項 目	本校	全国	10%○ 5%◇	差
国語の勉強が好き	47.6	58.2	○	10.6
国語の授業の内容はよく分かる	73.8	72.0		1.8
読書が好き	57.1	69.4	○	12.3
国語の授業で学習したことは、将来社会に出たときに役に立つと思う	30.0	42.2	○	12.2
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている	47.6	56.1	◇	8.5
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫している	39.3	49.1	◇	9.8
国語の授業で、自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている	57.1	60.3		3.2
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとめごとに内容を理解しながら読んでいる	51.2	67.5	○	16.3

○基礎基本の定着を目標にした授業づくりを心掛けてきた成果として、学習状況調査の「国語の授業の内容はよく分かる」が全国平均を上回った。

○経年比較でみると、国語Aは上昇しているものの、国語Bは低下している。つまり、基礎基本の知識は身に着けつつあるが、その力を活用するところまでは伸ばし切れていない。

○無解答率が全体的に高い。特に短答式、記述式の問題では無解答率が高くなる傾向にある。

○総合的な問題のときに、無解答率が極端に高くなる。（B問題の2三の無解答率が32.1%、観点は関心意欲、読む能力、書く能力）しかし一方で、この問題の正答率は大阪府平均を上回っており、上位層と中・下位層の学力差が大きいことがうかがえる。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（数学）

1. 全体の傾向

・「A区分問題」

平均正答数の全体的な分布状況と比べて、中間層は比較的上回っているが、下位層に偏っていることがみられる。
平均正答率(本校/58.0 泉佐野市/62.8 大阪府/65.0 全国/67.4)

・「B区分問題」

平均正答数の全国的な分布状況と比べて、A区分問題と同様に下位層への偏りがみられる。
平均正答率(本校/48.8 泉佐野市/54.9 大阪府/56.9 全国/59.8)

2. 学力状況調査より(本校正答率/全国正答率)

数学 A	特徴がみられた設問
<p>【数と式】 ○指数を含む正の数と負の数の計算ができる 1 (2) $2 \times (-5^2)$ を計算する (59.5/70.7) ○数量の大小関係を不等式に表すことができる 2 (1) 「プールの水の深さは120cm以下である」という数量の関係を表した不等式を書く (31.0/45.2) ○分数を含む一元一次方程式を解くことができる 3 (2) 一元一次方程式 $(x-1)/3=2$ を解く (40.5/59.5)</p> <p>【図形】 ○円錐の展開図において、おうぎ形の半径が円錐の母線に対応していることを読み取ることができる 5 (3) 円錐の展開図において、側面のおうぎ形の半径を読み取る (51.2/67.7) ○底面が合同で高さが等しい円柱と円錐の体積の関係について理解している 5 (4) 円柱と円錐の体積を比較し、正しい図を選ぶ (23.8/38.7) ○記号で表された図形の構成要素間の関係を読み取ることができる 6 (1) 長方形 ABCD において、$AC=BD$ が表す性質を選ぶ (48.8/61.7) ○三角形の外角とそれと隣り合わない2つの内角の和の関係を理解している 6 (2) 三角形の外角について、正しい記述を選ぶ (63.1/73.4) ○n 角形の内角の和を求める式 $180^\circ \times (n-2)$ における $(n-2)$ の意味を理解している 6 (3) n 角形の内角の和を求める式について、六角形の内角の和を求める過程を読み、$(n-2)$ が表すものを選ぶ (25.0/47.8)</p>	<p>○証明を読み、根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している 7 証明で用いられている三角形の合同条件を選ぶ (63.1/73.1) ○証明のための構想や方針の必要性和意味を理解している 8 証明の方針を立てる際に着目すべき図形を指摘する (64.3/75.8)</p> <p>【関数】 ○与えられた式を基に、事象における2つの数量の関係が比例であることを判断することができる 10 (3) $s=vt$ を基に、速さ v が一定のとき、時間 t と道のり s の関係について、正しい記述を選ぶ (47.6/60.4) ○一次関数の変化の割合の意味を理解している 11 (1) 変化の割合が2である一次関数の関係を表した表を選ぶ (36.9/47.3) ○一次関数 $y=ax+b$ について、a と b の値とグラフの特徴を関連付けて理解している 11 (2) 一次関数 $y=3x-4$ のグラフを選ぶ (61.9/75.1)</p> <p>【資料の活用】 ○度数分布表から相対度数を求めることができる 13 (1) 生徒60人の通学時間の分布を表した度数分布表から、ある階級の相対度数を求める (19.0/42.7) ○ヒストグラムにおいて、中央値の意味を理解している 13 (2) ハンドボール投げの記録の分布を表したヒストグラムから、記録の中央値を含む階級を選ぶ (34.5/52.0) ○樹形図などを利用して、確率を求めることができる 14 (2) 樹形図を利用して、3枚の硬貨を同時に投げるとき、表が2枚、裏が1枚出る確率を求める (52.4/65.1)</p>

数学B	特徴がみられた設問
<p>【数と式】</p> <p>○事柄が成り立たない理由を説明する場面で、反例をあげることで、その説明を完成することができる</p> <p>2 (2) 2つの偶数の積は8の倍数になるとは限らないことの説明を完成するために、予想が成り立たない例をあげ、その積を求める (42.9/65.4)</p> <p>○予想された事柄が成り立たないことを判断し、その事柄が成り立たない理由を説明することができる</p> <p>2 (3) 2つの偶数の商についての正しい記述を選び、その理由を説明する (26.2/44.2)</p> <p>【図形】</p> <p>○与えられた図から情報を適切に選択し、空間における図形の位置関係を的確に捉えることができる</p> <p>1 (1) 案内図を基に、経路を示すはり紙を選ぶ (63.1/77.0)</p> <p>○事象を理想化・単純化し、その結果を数学的に解釈し、問題解決の方法を説明することができる</p> <p>1 (3) 図形の性質を用いて、横断幕が木にまったく隠れない最も低い位置を求める方法を言葉や図で説明する (48.8/60.6)</p> <p>○図形の性質を、構想を立てて証明することができる</p> <p>4 (1) 2つの線分の長さが等しいことを証明する (27.4/39.4)</p>	<p>【関数】</p> <p>○事象を理想化・単純化して問題解決した結果を解釈し、数量の関係を数学的に説明することができる</p> <p>3 (2) 大地さんの求め方を基に、ウェーブをする人数と時間について、2つの数量の間の関係を説明する (50.0/62.3)</p> <p>○グラフの特徴を事象に即して解釈し、結果を改善して問題を解決する方法を説明することができる</p> <p>6 (3) 兄の出発時間を変えないとき、兄の進む様子を表すグラフの両端の2点を求め、そのグラフから兄の速さを求める方法を説明する (17.9/29.9)</p> <p>【資料の活用】</p> <p>○ある場合の得点を樹形図を利用して求めることで、与えられた情報を分類整理することができる</p> <p>5 (1) スティックゲームの遊び方を基に、1本表、3本裏のときの得点を求める (65.5/79.7)</p> <p>○不確定な事象の起こりやすさの傾向を捉え、判断の理由を説明することができる</p> <p>5 (2) 1点と2点のとりやすさについての正しい記述を選び、その理由を確率を用いて説明する (15.5/32.1)</p>

3. 学習状況調査より

質問事項	本校	全国	10%○ 5%◇	差
数学の勉強は好きですか	58.3	56.6		1.7
数学の勉強は大切だと思いますか	83.3	82.1		1.2
数学の授業の内容はよく分かりますか	78.6	71.5	◇	7.1
数学ができるようになりたいと思いますか	89.3	91.3		2.0
数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	66.7	70.3		3.6
数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	44.0	40.9		3.1
数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	72.6	71.4		1.2
数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	62.0	67.4	◇	5.4
数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか	65.5	70.0		4.5
数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	83.3	80.0		3.3
今回の数学の問題について、解答を言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力しましたか	47.6	57.7	○	10.1

○学習状況調査の中で全国と5%以上差があり、課題とされる項目が2項目だけとなっている。

○数学に対しての意欲的な姿勢、社会的な重要性を問う質問項目は全国、大阪府と比べても本校の意識は同等もしくはそれよりも高い数値になっている。

○数学に対し、ノートを書くことなどの授業のとりくみ方は全国、大阪府の数値を上回っているが、実際に生徒自身が問題にとりくむ姿勢には課題があり、最後まで粘り強くとりくむこと、考え、表現することに苦手意識を持っている生徒が多い。

○学力状況調査からA区分問題に比べ、B区分問題の方が無回答率の高い設問が多い。A区分問題での無回答率が10%を越えているものは大部分が中学1年生に学習した内容のものであり、また、B区分問題では説明や証明などといった記述式の問題のほぼ全てに10%以上の無回答率がみられた。

平成26年度全国学力・学習状況調査の分析（生徒質問紙より）

本校の子どもたちの意識調査を、質問に対して4択（62問）で選ぶものは、選択肢1、2と3、4はそれぞれ同じ傾向と捉える。（例えば、1. 当てはまる 2. どちらかといえば、当てはまる 3. どちらかといえば、当てはまらない 4. 当てはまらない）

また、それ以外の質問（12問）は特徴的な事柄を取り出し、それらを全国と比較している。

下記の表には全国と比較して5%以上差のあるものの中で、特徴的な項目を列挙した。さらに、下線部に関しては10%以上の差のあるものを示している。

設問内容種類別の全国との比較で差が大きい特徴のある項目

設問内容種別	本校の状況	本校 < 本校回答率 / 全国回答率 >
【家庭生活の様子】	<ul style="list-style-type: none"> 起床・就寝ともに、全国と比べ遅い。 難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦する生徒は、昨年よりも増加している。 携帯電話、スマートフォンの所有率は昨年度よりも増加し、使用頻度は全国を大幅に上回っている。 地域の行事に参加している生徒は全国を上回っている一方で、地域や社会で起こっている問題等への関心を示す生徒は全国を下回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●毎日、同じくらいの時刻に寝ている。 <64.3/74.1> ○難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか (H25 61.4→H26 75.0) <75.0/68.0> ○友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか <54.8/48.6> ●普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く） <36.9/19.8> ○今住んでいる地域の行事に参加していますか <48.8/43.5> ●地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか <42.9/55.6>
【家庭学習の様子】	<ul style="list-style-type: none"> 通塾率は全国を上回り、学習塾で1日に2時間以上勉強する生徒は、平日休日ともに全国を大きく上回っている。 家で学校の予復習をしている生徒は全国を大きく下回っている。 読書を好きと回答する生徒は全国を大きく下回っている上、昨年度より減少している。 	<ul style="list-style-type: none"> ○学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む） <48.8/35.1> ○学習塾（家庭教師を含む）で勉強をしていますか <66.7/57.8> ●家で学校の授業の予習をしていますか <26.2/34.2> ●家で学校の授業の復習をしていますか <35.7/50.4> ●読書は好きですか (H25 58.7→H26 57.1) <57.1/69.4>
【学校での学習の様子】	<ul style="list-style-type: none"> 授業で、グループで調べたり話し合ったりする学習をよく行っていると回答する生徒は昨年度よりも増加している。 授業のはじめに、目標が示されると回答する生徒は全国を大きく上回っている。 数学の授業の内容はよくわかると回答した生徒は昨年度よりも増加している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●1、2年生のときに受けた授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていたと思いますか (H25 25.7→H26 28.5) <28.5/46.5> ●1、2年生のときに受けた授業では生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか <63.1/75.3> ○1、2年生のときに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか <89.3/71.5> ○数学の授業の内容はよくわかりますか (H25 65.1→H26 78.6) <78.6/71.5>

本校の取組み

◎これまでの取組み

- ・ 少人数指導 ・ 毎日の宿題 ・ 朝の学習 ・ 長期休業中の補充学習 ・ 家庭学習の手引き
- ・ 読書月間 ・ 進路学習 ・ 職業体験学習
- ・ 携帯電話の使用についての学習 ・ チャイム着席キャンペーン ・ セカンドステップ
- ・ 班活動を中心とした集団づくり ・ 指導と評価の一体化をめざした授業づくりの工夫
- ・ 他校種(幼・小)との連携 ・ 地域との交流

○ 本校は、集団づくりの核として、班活動に重点を置いています。班活動を充実させることで、子どもたちのコミュニケーション力とものごとにとりくむ力の向上をめざしています。

①授業中や朝の学習での班単位での答え合わせや教え合い活動

②係の仕事、清掃、昼食、週学活での1日のふり返りなど、日常の生活での生活班の活用

○ 本校の課題である、基礎学力の定着と活用力の向上に向けて、授業改善と家庭学習の充実に取り組んでいます。

①全ての子どもにわかりやすい授業をめざし、視覚支援を導入するなど支援教育の観点を生かした授業づくり

②子どもたちの考える力、判断する力、表現する力をはぐくむことをめざした言語活動の充実

③活用力の向上をめざし、より発展的な内容を授業中に行う「ステップアップ・ターム」の実施

④数学・英語での習熟度別指導や学級を2分割しての少人数指導の実施

⑤1年生への数学・英語の週1回の7時間目授業(放課後学習)の実施

⑥3年生への定期テスト1週間前の7時間授業の実施

⑦3年生希望者への放課後や長期休業中の補充学習会の実施

⑧教師の授業力向上のため、全クラスでの研究授業と、外部から講師を招いて学力向上のための研修

⑨教科ごとの学習方法や家庭学習のしかたについての情報提供のため、全家庭に「家庭学習の手引き」を配布

⑩読解力向上と読書習慣の定着のために、毎学期はじめの読書月間(朝の読書活動)の実施

⑪授業規律の確立に向けた取り組みの実施

◎これからの取組み

- ・ 毎日の宿題、朝の学習、放課後学習の継続 ・ 読書活動の推進
- ・ 支援教育の観点を活かした授業づくりの推進 ・ 授業における言語活動の充実
- ・ 指導と評価の一体化をめざした授業づくりの充実 ・ 学習規律の再点検 ・ 教職員研修の充実
- ・ 地域との交流の充実 ・ 他校種との連携の充実

○ 基礎学力の充実のために反復教材の工夫と家庭学習への活用をすすめます。

○ 子どもたちの学力実態に即し、すべての子どもにわかりやすい授業を実現するため、支援教育の観点を生かした授業づくりと、習熟度別少人数指導の工夫と充実を図ります。

○ 全ての教科で、子どもたちの考える力、判断する力、表現する力をはぐくむことをめざした言語活動の充実を、より一層すすめます。

○ 目標に準拠した評価の移行を円滑に行うため、授業と評価の一体化を図り、授業改善に努めます。

○ 支援教育委員会と連携し、個々の子どもたちの学習状況や課題を把握し、個別支援や通級指導教室の活用などきめ細かいとりくみをすすめます。

○ 家庭学習の充実を図るため、「てびき」の配布を継続するとともに、「てびき」の内容の充実を図ります。

○ 大人の協力で子どもたちを見守りサポートするために、家庭・学校・地域の連携を一層すすめます。